

「心」が変われば「態度」が変わる。
「態度」が変われば「行動」が変わる。
「行動」が変われば「習慣」が変わる。
「習慣」が変われば「人格」が変わる。
「人格」が変われば「運命」が変わる。
「運命」が変われば「人生」が変わる。

金曜日の学年集会で少しばかりの時間をもらい、左にある名言をみんなに紹介しました。

この名言は、松井秀喜選手が高校時代の恩師から贈られ人生の教訓としたことで有名ですが、他にも、サッカーの中村俊輔選手が著書「夢をかなえるサッカーノート」に記していたりします。

この言葉はもともとアメリカの心理学者ウィリアム・ジェームスの言葉だといわれています。スポーツ選手ばかりではなく、多くの人に共感を与えた名言です。

先日の総合の時間に、「夢って何だろう」と考えました。夢というと、将来自分が就きたい職業のことを考えがちです。しかし、それはすべてではありませんね。自分は、どういう生き方をしたいのか。どんな人生を歩みたいのか。それを考えることが夢なのかもしれません。夢をかなえる三つの法則も学びました。しかし、夢が見つからないと答えた人も少なからずいたようです。まだ、どんな生き方がしたいのか見つからない。当然です。まだ、中学二年生なのだから。でも、あなたたちは、しっかりと考えていく年齢に来ていますよ。

名言について、話を戻します。自分を成長させようと誰しも考えます。どうしたらよいのか、この名言は教えてくれています。理想から始めるのではなく、まずは足元を見つめることです。自分を知ること、そして自分の心を変えていくことが大事と言っています。心が変われば、態度が変わり、行動につながる。そして、その行動が習慣化されるのです。集会でも話したように、習慣になればもう自分のものです。ただし、習慣にするためには努力が必要ですし、あきらめない強い気持ちが必要となります。それができたなら、必ず道は開かれるでしょう。そして、豊かな人生が待っていることでしょう。

一方で、この名言は戒めの言葉でもあると思っています。心が悪い方向に流れてしまったら、それが態度に出て行動にも出てしまう。それが、習慣化してしまうと人格にも影響するのです。すべては、自分次第と言われているよう気がします。

最後に、心を変えるには何が大事かを話しました。自分次第ということから、「自」という字を思いつきました。「自立」・「自律」・「自発」・「自治」・「自力」、いろいろありますが君たちの年齢や行動から、「自主性」をあげました。

自主とは、自分がやりたいことややるべきことを見つけ、判断し、行動することです。つまり、他人に言われなくても自分から行動することです。人に役立つことや自分に役立つことを自主的に行う。自主的に活動することにより、人は大きく成長できます。ぜひ、自主的に活動することを習慣化してほしいです。それは、個人だけでなく集団も成長させてくれます。そんな学年にしていきたいですね。